

No.26-54

2026 年 9 月 28 日

エーザイ株式会社

パプアニューギニアにおけるリンパ系フィラリア症制圧活動を支援するため 飲水用カップ 8,250 個を寄贈

社員参加型の「ワンコイン寄付」プロジェクトを通じ、
JICA および Toyota Tsusho (PNG) Ltd.との連携により地域の保健医療活動を支援

エーザイ株式会社（本社：東京都、代表執行役 CEO：内藤晴夫）は、このたび、パプアニューギニアの西セピック州で実施予定のリンパ系フィラリア症（Lymphatic Filariasis：LF）に対する集団投薬（Mass Drug Administration：MDA）活動を支援するため、飲水用カップ 8,250 個を寄贈したことをお知らせします。本寄贈は、当社社員による「ワンコイン寄付」プロジェクトを通じて実現したもので、飲水用カップの輸送は、独立行政法人国際協力機構（JICA）および豊田通商グループの Toyota Tsusho (PNG) Ltd., Trading as Ela Motors（以下、Toyota Tsusho (PNG) Ltd.）の協力により行われました。

LF は、世界保健機関（WHO）が定める「顧みられない熱帯病（Neglected Tropical Diseases：NTDs）」の一つであり、蚊を媒介として感染し、発症すると痛みや発熱に加えて、リンパ系浮腫による身体の一部の肥大などの慢性的な症状を生じ、就労や就学が困難となって貧困につながることも多くある疾患です。LF の蔓延が公衆衛生上の課題となっているパプアニューギニアでは、政府が WHO や、技術協力プロジェクト「フィラリア対策プロジェクト フェーズ 2」を実施する JICA 等の支援を受け、遠隔地やアクセス困難な地域の多い西セピック州全域を対象とした MDA の実施に向けた準備を進めています。今回寄贈した飲水用カップは、これらの MDA において地域住民が薬剤を服用する際に使用されます。カップを提供することで、カップの共用に伴う感染症の蔓延リスクを低減し、現地の保健医療従事者による衛生面に配慮した安心・安全な投薬活動に貢献します。

当社は、2013 年から LF 治療薬であるジェチルカルバマジン（DEC）錠を自社のインド・バイザッグ工場で製造し、これまで WHO を通じて 33 カ国に 28.6 億錠を無償で供給してきました（2026 年 6 月現在）。

パプアニューギニアにおいても、当社は 10 年以上にわたり LF 制圧活動の支援を継続しており、2013 年以降、約 1,500 万錠の DEC 錠を無償提供してきました。また、MDA の中断を余儀なくされた新型コロナウイルス感染症のパンデミック禍においては、JICA との連携によりマスク 5 万枚と手袋 3 万 5,000 枚をパプアニューギニア保健省に提供し、MDA の安全な再開を支援しました。今回の寄贈は、こうした当社の長年の取り組みをさらに発展させるものであり、LF

制圧に取り組む地域社会および最前線の保健医療従事者への継続的な支援の一環です。

今回の寄贈は、社会・サステナビリティ課題の解決に向けて当社社員が任意で毎月定額で寄付を行う「ワンコイン寄付」プロジェクトを通じて実現しました。本プロジェクトは、NTDs 蔓延国の支援に加えて、当社社員がサステナビリティやグローバルヘルスをより身近な課題として捉え、社会貢献活動への参加につなげることを目的に 2026 年 4 月から開始しました。本年 6 月までの 3 カ月間で、社員からの寄付額は約 90 万円となり、これに会社が同額を拠出するマッチングギフトにより、寄付総額は約 180 万円（約 48,300 パプアニューギニア・キナ）となっています。社員主導型の「ワンコイン寄付」プロジェクトは継続して実施しています。

このたび当社が寄贈した飲水用カップのパプアニューギニアへの輸送は、本プロジェクトの趣旨に賛同いただいた JICA および Toyota Tsusho (PNG) Ltd.の協力を得て実施されました。Toyota Tsusho (PNG) Ltd.が日本からパプアニューギニアの首都にあるポートモレスビーの空港までの輸送を担い、JICA は輸入・通関手続きおよびポートモレスビーから西セピック州までの輸送を支援します。本年 9 月 22 日、関係者が集まり、パプアニューギニア保健省へのカップの引渡式がポートモレスビーで行われました。引き渡されたカップは、西セピック州への到着後、同州保健局を通じて現地の MDA 実施チームに配布され、MDA 活動に活用される予定です。

当社のサステナビリティ部長である南田泰子は、「このたび、JICA ならびに Toyota Tsusho (PNG) Ltd.の皆様の多大なるご協力により、社員一人ひとりの思いから生まれた支援を、パプアニューギニアの地域の皆様に届けることができましたことに、心より感謝申し上げます。今回寄贈する飲水用カップが、MDA 参加者の皆様の安全かつ衛生的な服薬の一助となり、LF 制圧に向けた取り組みに貢献することを願っています。今後もパートナーの皆様との連携を大切にしながら、必要とされる支援を地域社会に届けてまいります」と述べています。

エーザイは、JICA、Toyota Tsusho (PNG) Ltd.をはじめとするパートナーとの連携を通じて、社員一人ひとりの自発的な寄付を、支援を必要とする地域社会への具体的な貢献につなげることをめざしています。エーザイは、ヒューマン・ヘルスケア（hhc）理念のもと、今後も LF 制圧への貢献ならびに必要な保健医療へのアクセス向上に取り組んでまいります。



(写真左) 寄贈した飲水用カップを収めた 55 箱の段ボール
(写真右) 寄贈された飲水用カップ



パプアニューギニア・西ニューブリテン州における
2 回目のリンパ系フィラリア症集団投薬（2024 年）

以上